

第5回草津市図書館を使った調べる学習コンクール

応募規定

○サイズ：小学生はB4サイズ（八つ切りサイズも可）

○ページ数：1ページ以上 50ページ以内

※表紙、目次、参考・引用文献一覧は別に作成してつけたすこと

○作品表紙：タイトル・学校名・学年・組・名前を記入

○応募方法 8月29日（火）までに担任の先生に出しましょう。

★テーマは自由です。

★作品は、応募者自身のオリジナル作品に限ります。

★他のコンクールとの二重応募はできません。

★全国コンクールで入賞した作品の著作権は、公益財団法人図書館振興財団に帰属します。

※応募票を表紙に貼って、持ってきてください。

図書館を使った調べる学習コンクール（取組資料）

【公益財団法人図書館振興財団 HP より作成】

● さあはじめよう「調べる学習」の4つのステップ



1. テーマを決めよう

疑問やふしぎをさがしてみよう！



2. 図書館で調べる

地域の図書館や学校図書館で調べてみよう。見つけた本の名前は書いておこう。



3. もっと調べる

まちや自然のなかにもでかけよう！図書館では調べきれない発見があるよ。考えたことをメモしておこう。



4. 書いてまとめよう

友だちに自分が調べたことを教えてあげるつもりでまとめよう。

[どこでなにを調べたか、参考文献を書こう](#)

1. テーマを決めよう

疑問やふしぎをさがしてみよう。

① 身のまわりをよく見よう

生き物、草花、食べ物など、生活の場には調べるテーマがたくさん。家族や友だちとの会話や、新聞・テレビ、教科書の中にもテーマが隠れているかも。

② 「どうしてかな？」と疑問の形で考えてみよう

「雲の形はどうしてみんな違うのかな？」「ダンゴ虫はなぜ丸くなるの？」「なぜかな？」「どうしてだろう？」と考えてみよう。ふしぎな気持ちが大きくなっていきます。

③ 比べてみよう

自分が住んでいる土地ではこうだけれど、ほかの場所ではどうなっているかな？ 今と昔など、比べてちがいに気づくと、調べたくなってきました。

④ 仮説をたててみよう

答えを予想して仮説をたててみよう。テーマによっては、頭の中も整理されて、どこでどう調べればよいかかわかってきます。

⑤ とりあえず、テーマを決めよう

おおまかなテーマしか思い浮かばないときは、少しだけそれを調べてみよう。自分が本当に興味を感じるテーマがきっと見つかると思います。



2. 図書館で調べる

地域の図書館や学校図書館で調べてみよう。見つけた本の名前は書いておこう。

① 図書館に行ってみよう

図書館は知識の宝庫です。書棚をながめて、テーマに関係した本やパンフレット、新聞記事をさがそう。

② 司書さんに聞いてみよう

本が見つからない時は、司書さんに相談してみよう。関連した本の見つけ方、調べ方を教えてください。

③ 百科事典は強い味方

まずは百科事典にあたってみよう。関連した事柄がわかって、そこから調べることが広がっていきます。

④ 複数の資料をくらべてみよう

本を読み比べてみよう。書いてあることが違うかもしれません。

⑤ 図書館での関連の講座に参加しよう

調べる学習のやり方は、学校の授業のほかに、図書館でも教えてくれることがあります。家の人や友だちと行ってみよう。

作品には調べた本（情報源）を必ず書いておきましょう。

「〇〇という本にこういうことが出ていました」ということを、調べながら書きとめておきましょう。インターネットの情報は、URL（ホームページの住所のようなもの）と検索した日付も忘れずにメモしてください。

3. もっと調べる

まちや自然のなかにもでかけよう！ 図書館では調べきれない発見があるよ。考えたことをメモしておこう。

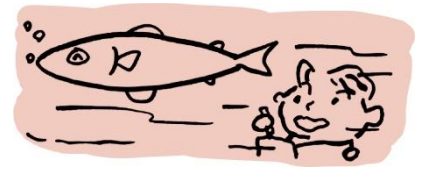
① 実験しよう、観察しよう

植物や昆虫、動物などを調べるときは、観察や実験も良い方法です。どんな方法で行い、何がわかったか、結果も含めて記録しておこう。

② 博物館・動物園・資料館に行こう

実物にふれたり、専門の資料などを見ると、ものの見方や考え方が広がります。

そのときの自分の気持ちもメモしておくのと、まとめるときに役立つ！



③ 人の話も聞いてみよう

身近な人へのインタビューやアンケート調査も有効です。専門家などに手紙を出すと、疑問にこたえてもらえるかもしれません。もし、会えることになったら、あらかじめ質問をまとめておこう。

④ そして図書館へ

図書館の外で色々調べてわかったことを、もう一度図書館に戻ってたしかめてみよう。新たな発見があるかも。

4. 書いてまとめよう

友だちに自分が調べたことを伝えるつもりでまとめよう。

① なぜ、そのことを調べたいと思ったのかな？

まず「どうしてこのテーマを選んだのか」、そのきっかけを書こう。「こういうことに疑問をもったからなんだ」と読んだ人に伝わるだけでなく、自分でも「このテーマを選んだ理由」をしっかりと意識できます。

② なにをどうやって調べた？

どのように調べていったのか、そのみちすじを読む人に伝わるようにまとめよう。

③ 目次をつくろう

説明しやすいように、メモをならべかえて目次をつくろう。全体のストーリーを考えるのにまよったら、だれかに読んでもらって、わかりやすい組み立てを目指そう。

④ どこでなにを調べたか、参考文献を書こう

調べるときに使った図書館や本を書こう。このときにもメモが役立つ！

⑤ 調べてわかったことに対して、どう考えたか？

自分が思ったこと、考えたことを自分の言葉で書いてみよう。調べる前と、後で考え方が変わった点も書こう。

⑥ タイトルはとっても大事！

自分のテーマが伝わるようなオリジナルのタイトルをつけてみよう。

